

福井県職員（自然保護）選考採用試験 専門試験問題【例題】

問 生物多様性を守るための条約または法律の内容について正しい記述のものを2つ選べ。

- 1 生物の多様性に関する条約（生物多様性条約）において、「生物の多様性」とは、すべての生物（陸上生態系、海洋その他の水界生態系、これらが複合した生態系その他生息又は生育の場のいかんを問わない。）の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含むものである。
- 2 生物多様性基本法は、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的・計画的に推進することで、豊かな生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたり享受できる自然と共生する社会を実現することを目的としており、もっぱら国の責務のみを規定した法律である。
- 3 自然再生推進法における基本理念において、自然再生は、関係行政機関、関係地方公共団体、地域住民、特定非営利活動法人、自然環境に関し専門的知識を有する者等の地域の多様な主体が連携するとともに、透明性を確保しつつ、自主的かつ積極的に取り組んで実施されなければならないとされており、自然再生にあたっては、主体者の合意が重要とされ、合意に基づいた意見は、科学的知見や評価よりも優先されると規定されている。
- 4 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律は、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存をはかるため、国内希少野生動植物種（国内希少種）と国際希少野生動植物種（国際希少種）の双方を対象として、希少野生動植物種の捕獲等及び譲渡し等の禁止といった規制を定めるとともに、国内希少種の生息地等の保護及び保護増殖事業の実施等の措置を規定する法律であり、地方自治体等が公表するレッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）もこの法律を根拠として策定している。
- 5 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律は、野生鳥獣の保護と管理を行う上で狩猟による事故防止を図るとともに、野外レクリエーションの一環として秩序ある狩猟を普及することにより、国民の健康の増進と自然とのふれあいを推進することなどを主な目的とした法律である。
- 6 ワシントン条約では、国際間の商業目的の過度の取引による種の絶滅を防ぐため、絶滅のおそれがあり、保護が必要と考えられる野生動植物の種について附属書にリストアップし、さらに絶滅のおそれの程度に応じて附属書の内容を三区（附属書Ⅰ～Ⅲ）に分類し、それぞれの必要性に応じて、国際取引の規制を行うこととしている。日本におけるワシントン条約履行のための措置は、外国為替及び外国貿易法に基づく輸出入の際の水際規制である。

（正答 1, 6）

問 環境省のレッドリストによると、現在国内で最も絶滅危惧種の割合（絶滅危惧種／評価対象種）が高い分類群は、淡水・汽水魚類、陸・淡水産貝類、両生類である。なぜこれらの分類群で絶滅危惧種の割合が高くなったのか、その理由を簡潔に3つ挙げよ。

(記述式)

問 農山村において、野生鳥獣と人の暮らしとの軋轢が深刻な社会問題となっている。具体的な鳥獣名を1種例に挙げ、生態および生活史の特性を踏まえて、被害の内容とその解決策について説明せよ。

(記述式)